

第6回 神奈川県営水道事業審議会 水道料金部会 議事要旨

日時

令和5年5月10日（水曜日） 13時00分～16時00分

主な議事内容

- 水道料金収入や企業債といった財源構成に関する現状分析及び今後の見通しについて議論を行った
- 次期経営計画期間に見込まれる施設整備及び維持関連費用について議論を行った
- 財政収支見通しを踏まえた料金水準について議論を行った
- 「料金体系の見直しの方向性」に基づく簡易シミュレーションの結果について議論を行った

主な意見（議事要旨）

- ▶ 使用水量が減っても収入が減らない構造を作るという議論が必要ではないか。例えば水量が16%減っても料金収入の減少を10%程度に留めないと経営が成り立たないといった議論になるのではないか。
- ▶ 部分ごとに分析している「今後の見通し」はそれぞれそのとおりだと思うが、総合してどうあるべきなのか、今後の方向性をまとめる視点が必要ではないか。
- ▶ 私の理解では、施設整備の305億円はあくまで100年という超長期の期間における概算見通し、大枠の数字での年額平均と捉えている。305億円が決め打ちで確定という話ではなく、目安と言ってしまうかもしれないが、その程度の金額のオーダーになるという中で、詳細な金額は別途積み上げてやっていくものとして、当面5か年については上振れした金額が示されているということではないか。従って305億円とは、想定される100年間を見通した数字だと割り切って理解された方がいいような気がする。
- ▶ 業務用の一部でマイナス改定となってしまう部分について、是正しようとするとならず家事用に影響してしまうため、難しいということは理解した。
- ▶ この改定によってどういうモデルが影響を受けるのか、単に水量で切ってランク別に影響を出すだけでなく、どのあたりの事業者なり世帯に大きく影響が出るのか、きちんと分かる資料を示していただきたい。